

守ろう！
憲法九条
21世紀の宝

檜原憲法九条の会ニュース

No 33

事務局・連絡先 樽門 075-391-0567 下山 075-392-3861



池田桂子作



会場：国立劇場おきなわ（沖縄県浦添市勢理客 4-14-1）

2018年3月24日（土）13:00～17:30

主催：沖縄県 共催・企画：公益財団法人日本自然保護協会

ジュゴンなど生命の宝海

埋め壊し何百年も

米軍基地にしないで！

名護に平和な海を：

稲嶺ススム氏は「辺野古の海にも陸にも基地は造らせない」を掲げ、野党6党や市民団体と一緒にたたかいました。

当選した新人の渡具知武豊氏は、安倍自公政権から全面支援を受け「新基地工事は止められないから基地再編交付金をもらった方がいい」と金でビンタをはったと報じられています。

今後は安部政権下で新基地建設の強行が予想されます。

しかしながら、辺野古の海にはジュゴンが生息し、サンゴ礁や生命の宝海があります。市民の綺麗な海を守りたいとの気持ちは変わっていません。

選挙結果は、基地賛成の強い意思表示ではなく、基地に囲まれた名護の「今の生活苦を早く何とかしてほしい」と交付金・経済復興への複雑な思いが反映されたものではないでしょうか。

沖縄タイムズなど三社共同で実施した選挙時の出口調査によると辺野古移設に「反対」が64.6%で、「平和憲法を守るべきだ、日本に米軍基地はいらない」「憲法九条を守るべきだ」の声が多かった。

（藤原克東）



どんぐり
団栗帽子

有終の美

アベくんたちは「でっち上げ」がウマイと言うかへたと言うか・・・。

有ると言っていたゴミが元々無かった上に「無い」「捨てた」と言っていた書類が出てきて、もうウソやゴマカシが通らなくなったら今度は記録を書き換えてでも逃げようとオソマツを重ねている。

「本当のことを知っているアキエちゃん」と「本当のことを言わないサガワくん」を隠し続けることはもう無理。

そんなあなたたちに憲法を改正する資格など有りません。

遅すぎたけれど退陣の時が来たようです。ジタバタせず「有終の美」を飾りなさい。でも君たちにそれができるかな？

（誠）

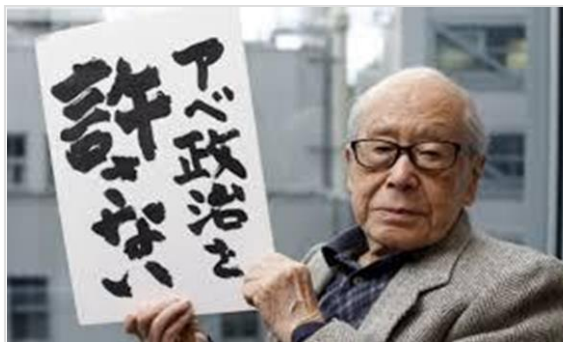
「アベ政治を許さない」

事務局長
(樽門)

俳人の金子兜太さんが墨で激書した「あべ政治を許さない」のプラカードはたちまち野火のごとく日本中に拡がりました。

このプラカードは2015年、安保法制(戦争法)を阻止する「九条の会」の集会で最初に掲げられましたが、大いに歓迎され、テレビ報道などでたちまち日本中に知られました。

この言葉はアベ政治の特に戦争体質を問題にし、今後の歴史を変える光と力を放ち続けています。



金子兜太さんは、2018年2月20日 残念にも98歳で亡くなりました。

(以下の記事は雑誌、日刊ゲンダイの記事の一部から引用)

日刊ゲンダイ 2016年5月30日

注目の人 直撃インタビュー

俳人・金子兜太氏

「アベとかいう変な人に

痛切な危機感」

気迫ある毛筆で書かれた「アベ政治を許さない」のプラカードは、昨夏の「安保法制反対」運動のシンボルだった。揮毫したのは、現在96歳の俳句の大御所・金子兜太氏。南方で終戦を迎え、1年3カ月の間、米軍の捕虜となって最終船で引き揚げたという。あれから70年。安倍政権の安保法強行の動きに奮い立ち、老体を押して戦争体験を語る講演を全国各地で行っている。

“カタカナ”なのは

漢字じゃもつたない

から「九条の会」呼びかけ人で、作家の澤地久枝さんの依頼で揮毫したそうですね。「許さない」の文字の大きさに、金子さんの思いが伝わってきます。

若い人に絶対に戦争をさせてはならないという思いで、一発で書いたの。

今の政権は国民の言うことに耳を傾け

ようとしない。憲法を変えずに自衛隊を戦場に送ろうとし、ズルイやり方でアメリカの顔色ばかりうかがっている。

「アベ政治」をカタカナにしたのは、こんな政権に漢字を使うのはもつたないからね。戦争なんて無残な死を積み重ねるだけ。

戦争ほどの悪夢はない。人間にとって全くの不幸ですよ。この体験を絶対に忘れないぞと思つて帰ってきたんですが、70年の間に気持ちが変わる時もあった。

安倍首相の再登板で

思いが蘇った

そう、アベとかいう変な人が出てきたもんですから。私のようなボンクラな男でも危機感を痛切に感じるようになりましたね。安保法をやりだした時にね、こりゃ危ないって気がした。

憲法9条の改正の是非を国民投票にはかると、とハッキリ言ってくればいいんですよ。それが、直接9条には触らないで、周辺をグルグルといじった。特定秘密保護法なんて治安維持法みたいなものでしょう。遠巻きに近づくと、これが危ないと思つたのね。

憲法守らず暴走する 独裁政権は許せない！

投稿

安倍政権の憲法違反(立憲主義にもとる)の暴走は、安倍自民党の党是(戦後を総決算し憲法改正に至る)を実現するため、国会を軽視し次々と暴挙を行ってきた。

① 特定秘密保護法は2013年12月6日の臨時国会の深夜に強行採決した。憲法22条の国民の知る権利を侵すとして国会審議は紛糾した。

② 安保法制(戦争法)は、2015年9月19日未明、国会を45000人が包囲し「アベ政治を許さない」と叫ぶ中で強行採決された。

③ 共謀罪は2017年6月15日参院本会議で強行採決。テロ対策を超えて一般人が監視対象にされる、として紛糾したが強行採決された。

これらの法律は国民を国の意向に従わせることを強化するものであり、超右翼的日本会議が目指す国家中心主義に繋がると言えます。現平和憲法を守ろうともせず平和主義の骨格である「九条」に自衛隊を書込む改定を行い、日本を再び戦争する軍国国家にするクーデターは決して許されぬ。(九重 裕)

ソーシャルワーカーの

“人”言

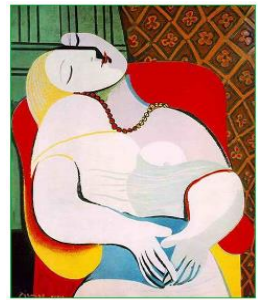
【事例⑩ 頼れるものは？】

ギャンブル依存症のJさんは現在、リハビリ施設で回復に取り組んでいます。

同じ依存症の仲間と出逢い、仲間の話を聞くことで自分だけが抱えていると思っていた生きづらさをほかの人も抱えていることを知り、孤独感が少し軽くなり、今まで誰にも言えなかった自分の気持ちを吐露できるようになってきました。

しかし、本当の意味でJさんの孤独は癒されていません。Jさんは施設に入所してから何度も実家に手紙を書いていますが、一度も返事が来ないのです。

伝えたい人にこそ伝わらないことがあります。あの人にこそ解ってほしいのに、あの人にだけは届かないことがあります。自分にとって大切な人だけに、私の気持ちを解ってほしい—そういう気持ちがあつて当然です。しかし、そう一筋縄ではいかないのが人間関係です。依存症は病気です。そうして理屈では理解を深めていた



夢 (ピカソ)

としても、感情は簡単に割り切れるものではありません。今まで当事者に迷惑をかけられてきた家族の苦労は、身近であるがゆえに消えるものではないからです。消えない憎しみは、関係性が身近であることの反証でもあります。裏切られたと思うのは信じたい気持ちがあるからです。良くも悪くも、関心を持ち続ける関係ということですね。

Jさんが施設に入所して、三年が過ぎました。依存症と向き合い、ようやく施設を出て自立する心と身体準備が整いました。手紙の返事は相変わらず来ませんが、Jさんは以前のように強い孤独感に苛まされることはなくなりました。

人は辛い時こそ、誰かに赦してほしいのです。誰かの赦しは自分にとっての救いです。しかし本当に自分を赦せるのは、自分自身に他ならないのです。自分の行いを自分自身で受容し、

客観的に見つめることができたとき、

甘えや開き直りでなく、本当の意味で自分のことを赦すことができるのです。

人は誰しも、誰かとつながりあひながら生きています。そもそも生命はつ

ながりから生まれてくるのです。

私がいて、あなたがいて。あなたがいて、私がいる。損得抜きで、そんな関係を大切にしていきたいですね。

精神科ソーシャルワーカー

山田 龍亮

平昌オリンピックに思う

平和の大切さ



調子町 森脇健二

平和の祭典、第23回冬季オリンピックが無事終わりました。世界から過去最多の92カ国と地域から2900人を超える選手が参加しました。冬季五輪はスピードとテクニクの凄さに感動させられました。

北朝鮮の核・ミサイル開発による緊張関係が厳しい情勢の中、世界の人々は平和の重要性を強く認識したのではないのでしょうか、「安倍九条改憲」反対の3000万署名運動は全国津々浦々で、平和を

求める各界、各層の市民団体が取り組んでいます。改憲派は、今年の情勢・国会勢力を逃せば改憲のチャンスは無くな

ると、何としても今年中に改憲発議しようとして「日本会議」を中心に活発に動いています。「アベ憲法九条改憲」は日本を戦争できる国に変えることです。戦争は平穏な生活、生命、財産、暮らしを壊してしまいます。憲法九条を守り、子供や孫たちに豊で平和な日本を遺すために老いの一徹で反戦運動に参加していきたい。



羽生「白鳥」舞う
2018 平昌五輪エキシビジョン

3000万人署名で

安倍9条改憲(戦争への道)STOPを!

ただ今の署名数は400・・・第2次集約日(4月20日)までに、樫原目標700達成を!

お願い

事務局より署名用紙の追加配布します。よろしくお願ひします。

- ① 街頭、スーパー(激安前)などで署名をすすめてみましょう。
- ② まだ署名をしていない人に訴えて署名をすすめてみましょう。

3月19日(月)行動に参加を!
 ・午後5時~桂駅西口広場
 ・午後6時半~市役所前
 戦争法廃止
 3000万署名宣伝活動

署名活動のルポ

(事務局 Y・T・M・N)

二月一七日(土)午前一〇時。小雪混じりの寒い中、今日は、喜寿を迎える爺と七〇過ぎの婆のチームで、仲良く地図を見ながら署名に歩く。

・チャイムを鳴らすと、「どなたですか?」と若い奥さんの声・・・

#「こんにちは、樫原憲法九条の会です。今、(アベ九条改憲)が国会で審議されるようになっています。自衛隊が海外で戦争する国にしないようにと、

全国で3000万署名をすすめています。ぜひご協力ください」

\$「子供の将来が心配。戦争だけは絶対いや、憲法変えたら不安。夫とも話す。#「署名を国会に提出し改憲発議を止めるよう請願しましょう」

&「安倍首相はいつも強行するので恐いと思っています。ご苦労さまです」



生姜でポッカポカ 岩室作 西京新婦人の会 絵手紙サークル

九条文化のひろば

- 働き方やと分った悪法に未練残して勉強し直し
 - トランプのジグザグ政策に愛想つかすが安部が尻押す
 - 活火山マグマ貯まった国民が怒りの噴火安部に糞石
- (権田町 林天流九六)
- こつくりと指相撲とる春日向
 - 昔なら切腹ものや証拠隠滅
- (樫原 豊)

編集後記

憲法を生かしてくれる

知事選候補

京都弁護士会の元副会長をされた福山和人さんだ。私にとっては、ほのぼのとした思い出のある人だ。私の元勤めていた職場にアルバイトとして来ていたのだ。宿直としての仕事のため、夜一生懸命に司法試験の勉強に打ち込む澄んだ目をした好青年だった。

三〇数年経って、みやこメッセのステージに立っている彼は、庶民に寄り添う府政を、と訴えた。奨学金と言う名のローンに苦しむ若者や「明日の我が身は?」と未来に希望を持たない非正規労働の青年に寄り添い、年々減る年金のため、切り詰めた生活を余儀なくされている高齢者に暖かい眼差しをおくる。福山和人さんを応援したい。(山中)

4月8日選挙



福山和人さん